

「大和市公共施設等総合管理計画（素案）」に関する市民意見公募の結果

■実施方法の概要

- 1 募集期間 平成28年12月15日（木）～平成29年1月16日（月）
- 2 受付方法 郵送、FAX、電子申請（氏名、住所、意見を明記）
- 3 周知方法 広報やまと（12/15号）、市ホームページ（12/15～1/16）
- 4 資料 「大和市公共施設等総合管理計画（素案）」
- 5 閲覧方法 文書閲覧（市役所1階情報公開コーナー、市役所3階総合政策課、保健福祉センター、文化創造拠点シリウス内6階図書・学び交流課、各学習センター、渋谷分室、各連絡所、各コミュニティセンター）
市ホームページ

■意見提出者数

1人

■主な意見

意見の概要	市の考え方
<p>予防保全型にシフトしていくうえでは、点検とともに利用者からの情報提供が重要であり、その必要性や協力要請について計画に盛り込んだほうがいい。</p>	<p>予防保全型の維持管理は、計画的に施設の改修等を実施することで、異常箇所の発生自体を防ぎ、長寿命化やトータルコストの削減を図ろうとする取組になります。現在も事後保全型の対応として、損傷箇所の発見に向けた点検を実施しているほか、利用者からの情報提供を施設管理者が受付けており、必要に応じ補修を行っています。</p>
<p>固定資産台帳、建物カルテ、公共施設白書は似通っている印象を受ける。これらを作ることが対策ではなく、実際の修繕などの対策を取ることが大切である。一つにまとめた実際の効果的な対策を取ることが大事である。</p>	<p>固定資産台帳や建物カルテ等については、財務書類作成のための基礎資料や、施設の現況確認など、それぞれ役割や機能を持っています。各計画等が機能するよう、進行管理の体制を確立することなどにより、対策の実効性を高めていくとともに、本計画には用語解説を加え、分かりやすく表示します。</p>
<p>大和市の道路は9割しか舗装されていないため、災害対応に問題が生じないように、早急に舗装すべきである。</p>	<p>市が管理する道路のうち、市街化調整区域を中心として、周囲が農地や林に囲まれているなど、一般の利用もほとんどないような箇所の一部については舗装していないため、舗装率が約9割に留まっています。市街地において市が管理している道路は基本的に舗装を行っています。</p>
<p>污水管の人口普及率が95.1%であるならば、残りの5%は不便な生活を強いられているということであり、早急な整備が必要である。</p>	<p>市では、下水道の整備について、「市街化区域」を基本として進めています。その結果、市全体で普及率が95%程度となっている污水管の整備も市街化区域では、おおむね完了しています。一方で、浸水被害等を抑制する雨水管の面積整備率は市全体でも70%程度にとどまっているため、現在は、市街化区域内の雨水管の整備を優先的に進めているところであり、市街化調整区域における污水管については、次の段階で対応していく予定です。</p>

<p>下水管について、マンホール等の隙間からゴミを捨てている人が後を絶たないため、広報等で、ゴミ捨て場でないことを周知すべきである。</p>	<p>下水管に生活排水以外のものが流入すると、管きよや処理場施設に負荷がかかるほか、環境への影響も考えられるため、市では広報などにより、下水道使用のマナー等について、啓発を行っているところです。今後も適切な利用を呼びかけてまいります。</p>
<p>市の人口について、推計人口より住民基本台帳人口が1,000人多くなっている理由は。</p>	<p>市が取扱う人口の統計については、推計人口と住民基本台帳人口があります。推計人口は国勢調査の値をベースに、住民票を作成、又は削除した数値を加減して求めたものであるのに対し、住民基本台帳人口は住民登録者数の累計であるため、数値が異なります。この数値の差は、住民登録を残したまま海外に居住しているケースや、進学や就職等で住民票を移さずに移動していることなどが要因となって生じます。</p>
<p>計画に推計人口と住民基本台帳の二つを併記している理由は。</p>	<p>本計画の策定にあたっては、国から30年程度の将来人口の見通しを示すことを求められているため、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」（推計人口と整合）を活用しています。なお、計画期間内（10年間）の人口の見通しについては、本市で政策や施策の検討などを行う際の基本となる、第8次大和市総合計画の将来人口推計（住民基本台帳人口が基礎）を用いているため、二つの人口を併記しています。</p>
<p>計画書中の文章について、漢字使用等を修正するとともに、専門用語等には注釈を付した方がいい。</p>	<p>「大和市行政文書の作成に関する規程」にのっとり、必要な修正を行うとともに、用語の解説を加えます。</p>